

学校だより

令和2年 1月 8日(水)
No. 39 表裏印刷
東又小 校長 中越あかね
Tel : 0880-24-0006

★あけまして おめでとうございます★

年が明けたかと思ったら、すぐに始業式です。13日しかない冬休みでしたが、子どもたちは充実した休みを過ごすことができたでしょうか。始業式の際の子どもたちの表情を見ると、楽しかった冬休みだったことが伺えました。

冬休みは年末年始があり、親戚が帰ってきたり里帰りしたりと、特別なこともあったりして、なかなか規則正しい生活は難しかったかもしれませんが、始まる少し前には元の生活に戻してくださったと思います。もし、「うちはまだだった」というご家庭は、早速今晚から「早く寝かせて」「早く起こして」「しっかり朝ごはんを食べさせて」という、規則正しい生活に戻してあげてください。今週は3日来たら、また3日間の連休があります。来週からも、引き続きどうぞよろしくお願いします。

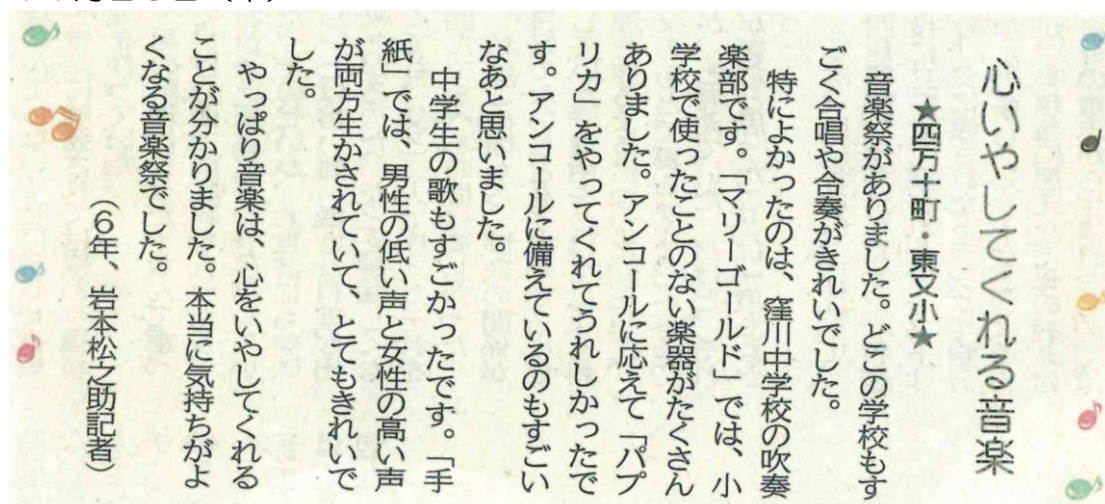
今年頑張してほしい「さ・し・す・せ・そ」

始業式に子どもたちに、今年頑張してほしい『勉強の「さ・し・す・せ・そ」』の話をしました。今後、生きていく中で必ず必要になる力です。まとめた言葉の中には、子どもには難しい言葉も入っていますが、こんな力が必要なんだと伝わったでしょうか？

- さ：探す** （なぜだろうと思ったことは、辞書・辞典・新聞・聞くなどして調べる）
し：自分から進んで （人から言われてするのではなく、自分から進んで頑張る）
す：筋道を立てて考える （筋道を立てて考えたり説明したりできる力をつける）
せ：整理する （調べて分かったことを整理してまとめる。得た情報の中から必要なことを選んで整理できるようにする）
そ：総括する （学んだことを振り返り、結びつけて「使える知識」にする）

【高知新聞に載ったよ】

11月28日(木)



12月31日(火)



休み中にも、東又小学校の記事が載りました。

1月5日の会に出席していたら、たくさんの方に声をかけて頂きました。子どもたちが頑張ってくれている成果ですね。

今年も、子どもたちの書いたものをどんどん記事として出していこうねと、確認したことでした。



1月3日(金)

今年のイチ押し②



学校林でツリークライミングの指導を受ける
東又小児童 四万十町黒石

四万十町 東又小の学校林活動

【窪川】昨年12月のある日。高岡郡四万十町黒石の東又小学校の6年生7人が、白いヘルメット、腰にはのこぎりという姿で近くの小高い丘に向かった。北風の中、子どもたちは元気いっぱい。白髪交じりのおじさんたちののこぎりの使い方を教わりながら、ヒノキ林の除間伐を始めた。

去年は全国表彰相次ぐ

同校の学校林は古くから地域住民に大切にされてきた。1960年7月27日付本紙にも「父兄が学校林の下刈り」の記事がある。9・6秒の広大で美しい林は、学校だけでなく地域の自慢だ。地元「朝霧森林倶楽部」の協力で、2016年には木製のアスレチック遊具を整備。児童らは毎年10月から3月ごろまでほぼ週に1回のペースで通い、遊具で遊んだり、ロープを使って木に登る「ツリークライミング」を楽しんだり。もちろん「朝霧」の指導で林業体験も続けている。昨年には国土緑化推進機構主催の「全日本学校関係緑化コンクール」で同校が準特選「朝霧」が協力賞に選ばれた。同校PTAも学校林活動などで「優良PTA文部科学大臣表彰」を受けた。児童も学校林が大好き。「行くたびにきれいな木に囲まれた中で遊ぶのは楽しい」と笑顔を輝かせる。中越あかね校長は「子どもたちは学校林を通して森や木の大切さだけでなく、地域の良さを知ることができている」と喜ぶ。学校林の木と子どもたちは、今年も互いに成長を見守り続ける。(井上太郎)

木を知り地域を知る

新年早々、学校林の活動の記事が「今年のイチ押し」に掲載されました。朝霧森林倶楽部や、保護者の方が整備作業をしてくださっているお陰で、子どもたちが様々な活動できています。またここには掲載されていませんが、ビオトープはトピア21、保育所、そして保護者のみなさんが整備作業をしてくださっているお陰で活動できています。

今年も整備作業は大変ですが、子どもたちのために、どうぞよろしくお願いします。